

令和2年8月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

令和2年8月のDI値は、全9指標中、売上高等5指標が改善しているが、新型コロナウイルス感染症が再度拡大傾向を示したことから、景況DI値は6月、7月と同様の値となり、引き続き、リーマンショック発生時の水準で停滞している。

猛暑の季節需要や国・地域による消費喚起策の実施の好影響もあり、一時期の落ち込みから回復傾向との報告もあるが、依然として、需要の低迷、受注の減少、人出の減少、売上の低迷等が継続しているとの報告が多い。

長引く新型コロナウイルスの影響による収益の悪化は、徐々に企業経営を圧迫しており、先行きを不安視している声も増えている。

山口県の主要指標 DI 値 (令和2年8月末現在)

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 0.0% 悪化： 66.3% DI 値： ▲66.3% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 10.0% 減少： 61.3% DI 値： ▲51.3% ポイント










収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 5.0% 悪化： 60.0% DI 値： ▲55.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和2年8月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲77.8	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲50.0	▲62.5	▲50.0	▲63.6
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲60.0	▲87.5	▲100.0	▲72.7	▲36.4	▲71.4	▲100.0	▲68.1	▲66.3
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新型コロナウイルスの影響で、まだ前年並の売上に届かない。	調味料製造業
	GoTo トラベルキャンペーンの宿泊券利用で、山口県内旅館ホテル売店における菓子の需要が期待されたが、県内在住者の宿泊が多く、組合員へ波及効果は皆無であった。お盆の間の公共機関売店の売上は前年比で激減し、組合員の店舗は横ばいの状況。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	給食の実施日が昨年より増えたため、売上げが増加。	パン・菓子製造業 下関市
	7月の店舗売上合計は対前年▲6.5%と前月（▲13.9%）に比較して回復基調。8月は8/23時点で対前年▲6~7%程度で推移している。毎年売上のピークとなるお盆期間（8/8~8/16）は対前年同期比▲10.6%、都市部での新型コロナウイルス感染再拡大による帰省自粛や猛暑による出控えがマイナスの要因と考えている。特に今年度は年配者の割合が低く、子供連れのファミリー層が増えた。松陰神社をはじめとする萩市内の観光スポットも例年に比べ少ない印象だった。小中学校の夏休みも今年度は短縮され（萩市は8/24から授業再開）で8月下旬の売上のマイナス要因である。毎年恒例の大規模イベント「萩さかな祭り」もコロナ対策で中止が決定した。	水産食料品製造業 萩市
	原材料となる魚の水揚げが少なく、原魚の異常な高値が続いている。台風9号による高潮が発生したが、被害はなかった。新型コロナウイルスの影響で観光関連の販売先の来客数が極端に減っている。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスの影響を受けて、技能評価試験(初級・専門級)が受けられていない実習生がいる。「特定活動の在留資格」の申請をしたが、早く通常体制に戻ってほしい。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナウイルスの影響を未だに受けている。百貨店の自粛対策によりギフト会場等が縮小となり、売上が減少している。地元百貨店での『うにギフト関連』の売上は対前年同月比で30~40%との連絡があり、組合員でも65~70%の売上に留まっている。通常の落ち込みに加えて新型コロナウイルスの自粛が影響している。当面は融資、補助金、給付金、雇用調整金等を使い持ちこたえるのが賢明だが、新型コロナウイルスの終息が見込めない場合はインターネットによる非対面型販売の充実も必須と考えている。新型コロナウイルスとの共存と経済回復の両立というのは正しいと思う	

	<p>が、新型コロナウイルスは致命的な要素と思われ、今後、経済の回復は不透明。</p> <p>山口県内でも新型コロナウイルスの第2波でクラスターが発生し、自粛ムードが広がり、8月も経済活動の厳しい状況が続いている。今後は、ソーシャルディスタンスに基づく経営活動のための中小企業向けの支援対策を早急に充実させることが必要となる。そのためには、これ以上、コロナウイルスが蔓延して、感染爆発をおこさないように、検査体制の拡充、クラスターの早急な把握と感染者の迅速な隔離が必要だと考える。また、今後のコロナ対策に関しては、国民の自主的なソーシャルディスタンス活動による集団免疫対策を講じることで、経済活動との両立を図ることが必要となる。大型台風の襲来は、作物に相当な被害が懸念される事態である。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>コロナウイルスの影響で、計画ロットより受注ロットが小さくなり、生産性が低下している。</p> <p>県内での感染者が増えている。従業員、特に技能実習生の休日の過ごし方に大変な苦勞をしている。</p>	<p>外衣・シャツ製造業 山口市</p> <p>外衣・シャツ製造業 山陽小野田市</p>
木材・木製品	<p>まだまだ本格的な回復は見込めないが、家の建ち具合等より、増加、好転とまではいかないものの、少しは上向いてきている様子。</p> <p>売上の対前年同月比は、組合員企業で20%～45%の減少で、平均としては30%程度の減少となっている。依然として回復の見込が無い状況。</p>	<p>製材業・木製品製造業 岩国市</p> <p>製材業・木製品製造業 下関市</p>
印刷	<p>新型コロナウイルスの終息がみえない状況下、経済活動再開もままならず、観光業を中心に多くの業界において企業倒産も増加している。印刷業界も全国的に受注が低調であり、前年比で売上が大きく減少しており、それに伴い収益状況も悪化している。設備投資意欲も低調であり、資金繰り対策の検討を余儀なくされている企業も多い。</p> <p>昨年に比べ売上が減る一方で、9月以降も受注の確約がない。雇用調整等を行いつつ景気の回復を待つのみである。</p>	<p>印刷 下関市</p> <p>印刷 山口市</p>
窯業・土石製品	<p>出荷量は、 (令和元年8月) 骨材 65%、路盤材 74%、再生材 95% ↓ (令和2年8月) 骨材 90%、路盤材 96%、再生材 88% 売上が増加している組合員もあるが、全体的には減少している。</p>	砕石製造業

	出荷量は、前月比 93%、前年同月比 81%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	例年のお盆明けには修理等の依頼が多いのだが、新型コロナウイルスの影響でお盆に帰省出来ない人は、お墓の状況が把握できないため、今年は減少傾向にある。墓参りの代行を行っている組合員もあるが、清掃については理解できるが、疑問な点もある。	石工品製造業
	先月から始まった Goto トラベルキャンペーンの影響で、市内観光客は、個人、家族での旅行客を中心に大幅に増加している。しかも宿泊客に配布（1人2,000円分）される「萩にゃん。お得にゃ観光ク～ポン」の影響で客単価がアップし、市内小売の売上は昨年並みに回復した。団体客についてはいまだに皆無で、依然として厳しい状況が続いている。百貨店や大都市小売店、ギフト関連の受注も回復していない。総売上は、対前年同月比で 50～60%と低迷が続いている。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	当組合の組合員は、ほぼプラント関係の建設業であるので、特に新型コロナウイルス感染症の影響が無く、前年比と変わらない状況。毎年8月は仕事が少ない月となるが、今年も同様であった。毎年9月、10月は周南地区のコンビナートが一斉に定期修理期間に入るので、昨年以上にかなり忙しくなる見込みである。	一般機械器具製造業 下松市
	新型コロナウイルスの影響で受注が減少、残業も減少しており技能実習生から不満の声が上がっている。	一般機械器具製造業 周南市
	大手車メーカーのマツダは8月から生産を再開し、組合員の受注も少しずつ回復の傾向にある。建設関連の受注は良い水準を維持している。組合間の景気動向には温度差がある。組合では、総じてコロナ対策を徹底している。ある組合員では県外からの業務連絡で来られた方が、体温測定をはじめとして厳格・適切なコロナチェックを受け帰社できたとの礼状が来たとのこと。雇用調整助成金の申請手続きは順調に終えた様子。	一般機械器具製造業 防府市
	新型コロナウイルスの蔓延による影響が若干あったが、製造業、食品加工業においても事業量確保の傾向がみられる。休業補償を利用する企業もあるが、同一業種でも好調な企業もありコロナ後を見据え外国人技能実習生の増員を予定している企業もある。介護、スーパーについては人手不足感が顕著である。今後の展開は予断を許さないが、コロナ終息後を見据え、技能実習生、特定技能の更新、受け入れ増員の要望は多く、リモートでの面接により準備を進めている。なお、技能実習生の入国が出来ない状況が続いているが、帰国もできないので一定の人員の確保は出来ている。但し、	一般機械器具製造業 宇部市

	帰国が始まった場合、入国、配属とのタイムラグが発生することが想定され、一時的に人員不足になることが懸念される。	
	宇部市・山陽小野田市地域で感染拡大が続く中、不安要素はあるが、今のところ業況に変化はみられない。	一般機械器具製造業 宇部市
	新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生が入国出来ず、次回受け入れの面接が出来なくて困っている。リモート面談に変更している。	一般機械器具製造業 岩国市
輸送機器	製品（加工）単価の低価、上昇難。新型コロナウイルスの影響で受注先の操業が落ち込み、受注見込みや生産計画に影響が出ている。半導体は高い作業量水準が継続している。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業になっている。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	7月までの売上高は前年度に比べ増加傾向にあったが、8月は前年度と同程度である。	乾物卸売業
	猛暑が続き、氷菓子、アイスクリーム等の売上が増加。	各種商品卸売業
小売業	新型コロナウイルスの影響でマスク生活になり、近所への買い物等の外出はノーメイクが主流になっている様であり、結果メイク用品が売れていない状況。更にGU等の多業種でもメイク商品を発売するそうで不安である。ノーメイクで節約した分で基礎化粧品をワンランクアップするお客様もいる模様。新型コロナウイルス感染拡大前の状態に早く戻ってほしい。	化粧品小売業
	新型コロナウイルス感染拡大に伴う大規模展示会の開催中止等の影響の商品の買い控えも、漸く一段落ついた感もあり、秋の農繁期向けの商品が前年同期と同程度の売上であった。	農業用機械器具小売業
	8月に入り猛暑でエアコンの需要が伸び、冷蔵庫等の夏物家電が好調であった。売上は前年同月比で増加している。	機械器具小売業
	新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。GoToトラベルの前倒しは市況にコロナ恐怖や疑惑を植え付けただけのようで、復調の兆しが見えていた飲食、物販、サービスの売上や来街者数に再び急ブレーキがかかった。一方、給付金で一時凌ぎの小売業は、改革的な活動はできず、縮小、悪化の一途である。小規模企業、零細企業が改革を実施すると、その資本体質から考えても破産する可能性が高い。	各種商品小売業 岩国市
	商店街への来街者は5月ほどではないが、減少傾向が続いている。	各種商品小売業 周南市
	生鮮食料品店の売上が少しずつ伸び出している。しかし、全体的にはまだまだ厳しい状況である。	各種商品小売業 下関市

商店街	新規出店の話も数件あり、街としては落ち着きを見せているが、新型コロナウイルスの感染者数も増加傾向にあり、不安定な空気感がある。	宇部市
	7月に増加したように見えた人出も、7月以降は横ばいの状況である。生鮮食品店はお盆もあり来客があったが、帰省客が少なかったため、飲食店の売上は少なかった模様。業務スーパーなどは単価が安いので地元客の出入りが多い。商店主は、山口県の新型コロナウイルス感染者が増加傾向のため、萩市への影響を心配している。	萩市
サービス業	全国的に新型コロナウイルスの第2波の影響が出ているが、感染者が出ていない地域においては、例年通りの経営状態である。現在、感染者の多く出ている地区の美容室においてはキャンセルが入る厳しい状況の模様。	美容業
	新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中で、客足が遠のいたままである。また、来店サイクルも長くなった。自粛ムードで各種イベントが中止となる等で、先行きが不安である。	理容業
	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令されていた4月、5月の山口県内の自動車の販売台数（新車新規）は、過去にない落ち込みとなった。6月にあってもマイナス幅は依然として大きい。7月は軽自動車対前年でプラスに転じたものの、登録車は依然としてマイナスを維持しており、販売会社の悲鳴が聞こえてくる。この販売不振は、3年後の自動車整備業界に車検台数として影響することが予想されるため、今から体力をつけておく必要があるが、現状の整備業界では難しいと思われる。	自動車整備業
	新型コロナウイルスで被害甚大。入会者が少ない。今後の回復もコロナウイルス次第。	スポーツ・健康教授業
	7月に続き厳しい状況が続いている。8月は閑散期とされているが例年にならぬほど売上が落ちているところもある。また、新型コロナウイルスのクラスターが発生の市内では、クリーニング業だけでなく飲食業も顧客の心理的要因によって売上が大きく減少している。	普通洗濯業
	山陽小野田市の新型コロナウイルス感染拡大の影響を感じている。世の中の流れが変わらない限り、飲食業にはまだまだ厳しい状況が続く様子である。	飲食業
	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、8月分は7月より落ち込んでいる。	旅行業
	宿泊者数は対前年同月比で46.4%、売上58.4%で新型コロナウイルスの影響から脱出できず。やまぐちプレミアム宿泊券及びGoToトラベルキャンペーンの恩恵を受ける施設と受けない施設に大きく2分されてい	旅館業 山口市

	る。	
	GoTo トラベルキャンペーンが始まって、思ったほど客足は伸びていない。お盆期間も期待していたが、政府の自粛要請でキャンセルが続出した。宴会、バンケットについてもほぼ無い状況。	旅館業 下関市
	売上高は前年同月比25%の減少。入浴者数は29%の減少。新型コロナウイルスの自粛により、俵山交流施設（ラグビー場）を利用した夏合宿等がなかった。また、河川プールも開園できず、利用者は付近の河川で遊ぶも、温泉利用者は減少した。各地区の夏イベントも中止で、盆の帰省者も減少している。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請件 134 件（当支部 122 件）、前年同月 91 件（同 74 件）。太陽光発電への申請 31 件（前年 25 件）、オール電化申請 31 件（前年 78 件）。LED 街路灯への切り替え・新設申請 26 件（前年 6 件）であった。	電気工事業
	業界の規模は20数年前より縮小の傾向にあり、25年間で左官技能者は7割減少している。コロナ禍でその傾向は更に進むと予測され、社長の意欲、事務所の財政状況により業界内での格差が際立ってくる。	左官業
	暑さ対策とコロナ対策をし、人手不足の中で組合員間で協力をしながら、年度当初受注工事で忙しく仕事をしている。新型コロナウイルスの影響か、民間の建築に関わる水道工事が減少している。	管工事業
	防長経済リサーチの令和2年上半期の県内倒産企業集計によると、1000万円以上の負債総額を抱えた倒産件数は31件で、負債総額は41億7900万円、件数で昨年より6件増、負債総額は、約20億円の減少となっている。31件の内、建設関連が5件となっている。柳井地域においては、具体的な情報は不明である。大方の予想に反して、新型コロナウイルスの感染が拡大しており、現状のぎりぎりの財務状況が、一気に閾値を越えることが懸念されている。コロナ禍の影響は、全ての産業に影響することから、土木建築の分野にも、今後は相当な縮小(採算割れなどを含む)が予想される。	土木工事業 柳井市
	2年8月の受注高は、対前年同月比 118.9%。今年度の累計は、対前年比 102.2%。	土木工事業 萩市
	土木工事については、前年並みで推移。	土木工事業 長門市
	新型コロナウイルスの影響で売上が減少。	内装工事業

	<p>長い梅雨が明けた以降は連日の酷暑で、現場の作業効率がガタ落ちとなり、毎夕、無事に帰社してくれればと祈るばかり。新築着工戸数は少しずつ減少しはじめ、この先が思いやられる。本年7月に、屋根ふき材の強風対策等の建築基準法の告示基準が改正される方向が示されたので、今後の需要喚起が期待できる。</p>	屋根工事業
	<p>手持工事は何とか確保しているものの、見積件数がかなり少ない状況が続いており不安を感じている組合員が多い。</p>	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	<p>輸送は中旬以降稼働率がやや上がり、前月より荷動きが上向いたものの、売上は前年同月比約30%のマイナス。輸出関係の輸送量減少が大きく影響している。新型コロナウイルスの一日も早い終息を前月同様祈願するのみである。燃料費は4円の値上げ。毎月の価格上昇に中小零細運送業者の痛手は大きい。引取税の減税を切望して止まない。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>組合自体の売上は9%程度の増加、しかしながら、輸送取扱高（組合取扱い）については40%程度の減少。依然として前年比で大きく割り込んでいる。下期からはある程度回復は見込まれるとの情報もあるが、確かな見通しはない。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>運送部門は相変わらず荷動きが悪い。比較的動くもの（食品・生活必需品など）と動かないもの（工業製品・嗜好品など）の差が広がっている。求職者は比較的多いようで、現在、人員は確保できている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲47.8%（令和2年7月1日～令和2年8月20日分）。7月1日～31日分は▲47.7%、8月1日～20日分は▲47.8%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。7月分については、周南▲45.8%、下松▲56.5%、光▲50.0%、防府市地区が▲50.2%で、組合員の全域では▲48.1%、地区外（員外）▲41.5%（6月分が7月に到着受託）、合計▲47.7% ▲11,525千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上がり（前月335.0\$/トンが今月342.5\$/トン、前年357.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月350.0\$/トンが今月382.0\$/トン、前年450.0\$/トン）。為替は円高（前月108.55円/\$が107.84円/\$）。燃料単価は前月と同額になった。前年8月分も同額だった。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しているが、新型コロナウイルスの影響で需要が激減。乗務員募集は中断する所もあるようだが、将来の景気回復を見据えて、休業補償等で、人</p>	一般旅客自動車運送業

	<p>員確保に苦心しているような状況。現金利用の多い個人利用客は回復しているようだが、法人利用の多い当組合のチケットでは、出張移動や会合などを自粛されており、まだ前年比▲48%。特に夜間の飲食関係はまだまだ回復に時間がかかりそうに思われる。大都市での感染が少しずつ地方に広がって来るようで、感染発生による企業活動の中断自粛が大いに危惧される。</p>	
	<p>取扱高は、対前年同月比でかなり増加している。鋼材の輸出等が増加の要因と考える。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が、組合員(医療関係・介護関係)にも多かれ少なかれある様子。一番の課題は家族と利用者が面談できないことである。</p>	<p>介護事業</p>